



関東大震災100年

幾多の災害を乗り越えてきた東京
備えよう、明日の防災

関東大震災から100年企画展

関東大震災からの復興

8/16(水)～8/26(土) 江東区総合区民センター 展示ロビー(2F)



鉄骨を残して焼失した永代橋
(国立国会図書館デジタルコレクションより)

1923年(大正12)9月1日、土曜日、午前11時58分44秒。
ゆっくりとした揺れは15秒後に激しくなり、約2分間続いた。
昼食の時間帯だったこともあり、七輪やかまどには火がおきていた。要所で燃え広がった火は強風の影響で飛び火となり、およそ3日間東京を焼き尽くした。
死者行方不明者は約10万5千人(焼死が約9割)、全壊・全焼家屋は約29万棟、半壊約10万2千棟。
あの「関東大震災」から100年。
被災時や復興途上の貴重な写真に、定点で比較可能な場所では今を撮影した。
「東京はいかに復興したのか」 ご覧になった方々が自由に感じていただけたら、と思っている。
鷹野 晃



写真家 鷹野 晃(たかのあきら)

1960年 札幌生まれ 1995年 写真展「東京の屋上」をミノルタフォトスペース新宿にて開催
2012年 写真展「東京屋上散歩」を3331Arts Chiyoda 1Fギャラリーにて開催
2016年 写真展「東京定点写真 ～夕暮れと100年散歩～」をソニーイメージングギャラリー銀座にて開催
2019年12月 生涯250年記念写真展「ベーターヴェン への旅」をソニーイメージングギャラリー銀座にて開催
2020年7月 パネル写真展「江戸東京時空散歩 浮世絵と写真で見る今昔」を豊洲シビックセンター1階ギャラリーにて開催
主に人物ポートレート、旅の撮影を雑誌・企業PR誌などを中心に活動 ライフワークとして東京を独自の視点で撮り続けている
NHKの番組「美の壺」「ジャパノロジープラス」などに夕暮れや屋上散歩の案内人として出演
2013年から写真倶楽部「フォト森下」で講師を担当 2022年から写真サークル「江戸東京散歩」を主宰
著書 「夕暮れ東京」淡交社/2007年 「東京屋上散歩」淡交社/2012年
「浮世絵と写真で歩く 江戸東京散歩」KADOKAWA/2019年 電子版も

現在の永代橋
(撮影:鷹野晃)



主催 公益財団法人江東区文化コミュニティ財団 江東区総合区民センター (都営新宿線「西大島」駅A4出口すぐ)
〒136-0072 東京都江東区大島4-5-1 TEL03-3637-2261 FAX03-3683-0507